



2009年トキ繁殖結果

2009年のトキの繁殖結果がトキの飼育繁殖をしている環境省、新潟県より発表されました。

【産卵状況】

「佐渡トキ保護センター」「野生復帰ステーション繁殖ケージ」「多摩動物公園」の3施設で、昨年より2組多い18組の繁殖が行われました。今年は18組中、17組が産卵しました。3月18日、2009年最初のトキの産卵が、野生復帰ステーションの繁殖ケージで確認されました。今年最終産卵は6月1日でした。初産卵から最終産卵までの76日間合計113個の卵が産まれました。

【ふ化状況】

2008年よりトキ放鳥がはじまったことから、飼育下のトキが減少しないように、今年は人工繁殖でのふ化が多くなっています。4月17日、佐渡トキ保護センターで、今年最初のトキのヒナが人工ふ化で生まれました。今年最後のふ化は6月29日でした。

46羽のヒナのうち、人工ふ化は36羽、自然ふ化は10羽です。18組のペアのうち、4組が自然繁殖に成功しました。4年連続で成功したペアもいます。

7月28日現在、46羽のヒナのうち、43羽が順調に成長しています。

■国内で飼育するトキの羽数

(2009年7月28日現在)
 今年生まれのヒナ43羽を加えて、日本におけるトキの飼育羽数は153羽となりました(野生復帰数を除き、中国へ返還するトキ10羽を含む)
 飼育場所とトキの数
 ・佐渡トキ保護センター……………105羽(うちヒナ27羽)
 ・野生復帰ステーション繁殖ケージ……………16羽(うちヒナ6羽)
 ・野生復帰ステーション順化ケージ……………18羽
 ・多摩動物公園……………14羽(うちヒナ10羽)

第2回トキ放鳥 9月29日(火)

場所 新穂正明寺地区

今回の放鳥は、一定期間飼育(9月1日～28日)した仮設ケージから放鳥する「ソフトリリース」形式で行われ、20羽のトキが自然に放されます。

◆放鳥日当日は、仮設ケージ周辺での見学はできません。

◆飼育期間中や放鳥日は、仮設ケージ周辺の市道等の一部が車両通行止めとなります。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ 市役所トキ共生・環境課
 ☎63-3113



世界遺産登録に向けて

佐渡市歴史的建造物
 造物悉皆調査⑥

真野地区
 その1

○太運寺(佐渡市竹田)

曹洞宗寺院で、享徳元年(1452)、当時雑太(現竹田周辺)の地を支配していた本間信濃守によって創建されたと伝えられています。当初は金井地区貝塚にあり、法久寺と称していました。



が、永正3年(1506)、現在の竹田に移され太運寺となりました。以後、雑太本間氏の菩提寺となり、境内墓地には本間氏代々の巨大な

五輪塔が残されています。

今回の調査で、本堂が最も古く、装飾や柱の面取りの状況から1700年代初期にさかのぼることがわかりました。また、茅葺の山門と納屋がよく残っており、1800年代中頃の建築であることが確認されました。

なお、天正17年(1589)の上杉氏の佐渡攻めによって雑太本間氏の居城であった雑太城は廃城となり、その跡地に妙宣寺が建てられ、寺には直江兼続が寄進した槍が納められています。周囲には雑太城時代の土塁や堀跡が残っており、かつての戦乱の世の爪跡が偲ばれます。

◆市役所世界遺産推進課 ☎63・5136

世界遺産連続講座

「金と銀の島佐渡一鉱山とその文化」

入場無料、申し込み不要です。

開催

○9月19日(土) 午後1時～3時

会場 アミューズメント佐渡 2階 研修室

・「佐渡市の寺院建築悉皆調査
 —中世と近代を結ぶ島—」

講師 山崎完一さん

(株)グリーンシグマ技術顧問

○10月31日(土) 午後1時～3時

会場 真野行政サービスセンター 3階

大会議室

・「西三川砂金山笹川集落」

講師 中村義隆さん

(市文化財保護審議会委員)

・「笹川集落地割と土地利用の変遷」

講師 堀 健彦さん

(新潟大学人文学部准教授)

世界遺産出張説明いたします

市民の皆さんが主催する勉強会や現地見学会などに、世界遺産推進課職員が出向き、お話・解説をします。お気軽にお問い合わせください。

